

／よくわかる！／

**病害虫防除
マニュアル
きゅうり編**

そーだ、
にほんそーだに
そーだんしょう！



日本曹達株式会社

適期の薬剤散布がポイント!きゅうり作り に、日曹の製品がお役に立ちます。

[] RACコード
ハウスで使用
するくん煙剤

土壌病害・センチュウには…

バスアミド 微粒剤	適用病害虫名など	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
	苗立枯病 (ピシウム菌) 苗立枯病 (リゾクトニア菌)	200～400g/m ³	は種 又は 定植21日前 /1回	所定量を加え 十分混和
	つる割病、半身萎凋病 白絹病、一年生雑草	20～30kg/10a		所定量を 均一に散布後 土壌と混和

キルパー	適用病害虫名など	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
	つる割病、一年生雑草	40～60ℓ /10a	は種 又は 定植15日前 /1回	※A・B・C
	ネコブセンチュウ			※C
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	60ℓ/10a		※A
	前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類 又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止			
	前作のきゅうりのホモブシス根腐病蔓延防止	60ℓ/10a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで 但し、は種 又は定植の15日前まで/1回	※B
	前作のきゅうりのコナジラミ類蔓延防止			
	前作のきゅうりの褐斑病、つる枯病蔓延防止			※D
	前作の野菜類 又は花き類・観葉植物のアザミウマ類蔓延防止			※B
	前作の野菜類 又は花き類・観葉植物の古株枯死	40～60ℓ /10a		※B・D

※A 散布混和：所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
※B 希釈散布/灌水：あらかじめ被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
※C 注入：所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し、直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
※D 所定量の薬液を水で希釈し、土壌表面に散布または灌水する。

土壌消毒

定植期

生育期 (本園での散布)

収穫期

定植期の害虫には…

モスピラン 粒剤 (4A)	適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
	アブラムシ類	0.5～1g/株 0.5g/株	定植時/1回 定植後、但し 収穫30日前/1回	株元散布

アベイル 粒剤 (4A、28)	適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ウリハムシ	2g/株	育苗期後半～定植当日/1回	株元散布

ベシマーク SC (28)	適用害虫名	使用量		使用時期／使用回数	使用方法
		薬量	希釈水量		
	アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	400株 当り 25mℓ	400株 当り 10～20ℓ (1株 当り25～50mℓ) 400株 当り 2～20ℓ (1株 当り5～50mℓ) 400株 当り 20～200ℓ (1株 当り50～500mℓ)	育苗期後半～定植当日 /1回 定植直後 /1回	灌注 株元灌注

(注意:定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内)

◎薬剤使用の際は、登録内容を確認の上、登録使用基準を遵守してください。 ◎本資料は、2024年9月現在の登録に基づいて作成しています。

生育期～収穫期の病害には…

ベルコート フロアブル	ミギワ10 フロアブル	日曹 ゲッター 水和剤	
フルピカ フロアブル	フルピカ くん煙剤	日曹 ストロビー フロアブル	日曹 ファンタジスタ 顆粒水和剤
パンチョTF 顆粒水和剤	トリフミン 水和剤	トリフミン ジェット	日曹 ムッシュボルドー DF
ピシロック フロアブル	日曹 エトフィン フロアブル	ベトファイター 顆粒水和剤	ブロードワン 顆粒水和剤
日曹 ダニール ジェット	パンチョTF ジェット	日曹 カンタス ドライフロアブル	

適用病害名	製品名	希釈倍数 または使用量	使用時期／ 使用回数	その他の適用病害
灰色かび病	ベルコートフロアブル(M7)※1	2000倍	前日/7回	褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病
	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	炭疽病、つる枯病
	ゲッター水和剤(10,1)	1500倍	前日/5回	炭疽病、菌核病
	フルピカフロアブル(9)※1	2000～3000倍	前日/4回	褐斑病、うどんこ病
	フルピカくん煙剤(9)	50g/500m ³	前日/4回	うどんこ病
うどんこ病	ブロードワン顆粒水和剤(1,9)	1500倍	前日/4回	菌核病
	ベルコートフロアブル(M7)※1	2000倍	前日/7回	褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病
	パンチョTF顆粒水和剤(U6,3)	2000倍	前日/2回	—
	トリフミン水和剤(3)	3000～5000倍	前日/5回	黒星病、つる枯病(3000倍)
	トリフミンジェット(3)	50g/400m ³	前日/5回	—
べと病	ダコニールジェット(M5)	20g/100m ³	前日/8回	べと病
	パンチョTFジェット(U6,3)	50g/400m ³	前日/2回	—
	ピシロックフロアブル(U17)※3	1000倍	前日/3回	—
	ベトファイター顆粒水和剤(27,40)	2000～3000倍	前日/3回	—
褐斑病	ストロビーフロアブル(11)	3000倍	前日/3回	うどんこ病、炭疽病、褐斑病
	エトフィンフロアブル(22)	1000倍	前日/4回	—
菌核病	ゲッター水和剤(10,1)	1500倍	前日/5回	炭疽病、菌核病
	カンタスドライフロアブル(7)	1500倍	前日/3回	灰色かび病、菌核病(1000～1500倍)
	トップジンM水和剤(1)	1500～2000倍	前日/5回	※2
	ファンタジスタ顆粒水和剤(11)	2000～3000倍	前日/3回	灰色かび病
	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	炭疽病、つる枯病

※1：常温煙霧登録あり ※2：黒星病、炭疽病、つる枯病、うどんこ病、灰色かび病 ※3：うり類登録

生育期～収穫期の害虫には…

モスピラン 顆粒水溶剤	日曹 スカウト フロアブル	日曹 デニオーテ フロアブル
日曹 マブリック ジェット	日曹 コテツ フロアブル	日曹 フェニックス 顆粒水和剤
モスピラン ジェット	ニッソラン 水和剤	日曹 ピラニカ EW
日曹 テルスター ジェット		

適用害虫名	製品名	希釈倍数 または使用量	使用時期／ 使用回数	その他の適用害虫
アブラムシ類	マブリックジェット(3A)	50g/400m ³	前日/2回	—
アブラムシ類 コナジラミ類	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000～4000倍※3	前日/3回	ウリハムシ(4000倍)
	スカウトフロアブル(3A) (オンシツコナジラミ登録)	2000～3000	前日/4回	オンシツコナジラミ(3000倍)
	モスピランジェット(4A)	50g/400m ³	前日/3回	—
ミナミキイロアザミウマ	モスピラン顆粒水溶剤(4A) (アザミウマ類登録)	2000～4000倍	前日/3回	ウリハムシ(4000倍)
	コテツフロアブル(13) (ミナミキイロアザミウマも登録)	2000倍	前日/3回	ウリハムシ
ウリノメイガ	モスピランジェット(4A)	50g/400m ³	前日/3回	—
	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000倍	前日/3回	ウリハムシ(4000倍)
	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/3回	ウリハムシ
ハダニ類	フェニックス顆粒水和剤(28)	2000～4000倍	前日/3回	ハスモンヨトウ
	ダニオーテフロアブル(33)	2000倍	前日/2回	—
	ニッソラン水和剤(10A)	2000～3000倍	前日/2回	—
	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/3回	ウリハムシ
	ピラニカEW(21A)	2000～3000倍	前日/1回	アブラムシ類(2000倍)
	マブリックジェット(3A)	50g/400m ³	前日/2回	—
	テルスタージェット(3A)	48g/400m ³	前日/3回	—

※3：コナジラミ類は2000倍

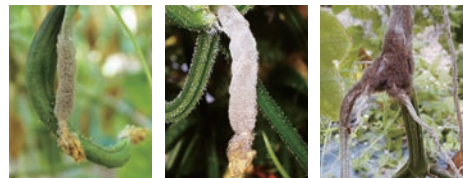


きゅうり病害虫図鑑

病害

【灰色かび病 *Botrytis cinerea*】

病斑上の病原菌や、地表面に菌核として残った病原菌が、伝染源となる。次期作では、そこから孢子が飛散して伝染する。



灰色のかびが密生する 発病幼果 発病茎
適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ブロードワン顆粒水和剤 など

【褐斑病 *Corynespora cassiicola*】

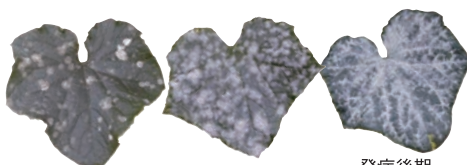
発病茎葉や農業資材などに付着した病原菌が、長期に生存して伝染源となる。葉に黄褐色の円形小斑点を生じ、後に同心円紋の大型病斑を生じる。



小型病斑 小型・大型混在病斑 発病後期
適用薬剤 ゲッター水和剤 など

【うどんこ病 *Golovinomyces cucurbitacearum, Leveillula taurica, Podosphaera xanthii*】

うり類が周年栽培される地域では、次々に伝染が繰り返される。晩秋に子のう殻が形成され、翌年の伝染源となる。やや乾燥した条件で発生しやすい。



発病中期 発病後期 発病後期 (葉脈に沿った病斑)
適用薬剤 バンチョTF顆粒水和剤、ベルクートフロアブル など

【べと病 *Pseudoperonospora cubensis*】

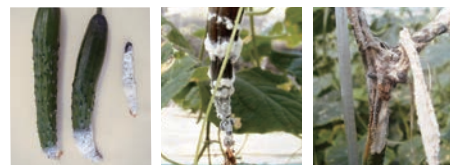
病原菌は発病葉で越冬する。きゅうりの周年栽培されている地域では、常時孢子が飛散しているため発生しやすい。葉に葉脈で区切られた多角形の黄色病斑を生じる。



発病初期 発病中期 発病後期
適用薬剤 ビシロックフロアブル、ベトファイター顆粒水和剤 など

【菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*】

地表面に落ちた菌核が伝染源となる。次期作では、そこから孢子が飛散して伝染する。果実、茎、葉に白色綿状のかびを形成し、後にネズミ糞状の菌核を生じる。



被害程度の異なる発病果 発病果に生じた菌核 発病茎に生じた菌核
適用薬剤 トップジンM水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤 など

【炭疽病 *Colletotrichum orbiculare*】

病原菌は発病茎葉や支柱に付着して越冬し、翌年の伝染源となる。葉に淡褐色の円形病斑を生じる。葉の病斑は内部がへこみ、穴が空きやすい。果実にも窪んだ病斑を生じる。

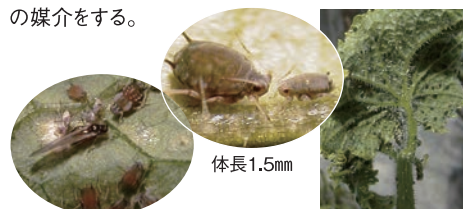


発病初期 発病中期 発病後期
適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ゲッター水和剤 など

害虫

【ワタアブラムシ *Aphis gossypii*】

葉や果実からの吸汁により、作物の生育が抑制。果実への寄生による品質低下を招き、モザイク病の媒介をする。



有翅成虫と無翅成虫 体長1.5mm 新葉の寄生状況
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【オンシツコナジラミ *Trialeurodes vaporariorum*】

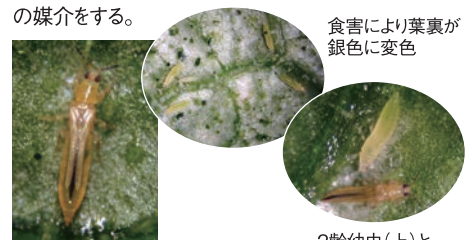
幼虫および成虫の葉からの吸汁により、作物の生育が抑制。排泄物によってすす病が発生、黄化病の媒介をする。



3齢幼虫(0.5mm)と4齢幼虫(0.8mm) 成虫 (全長1.5mm) オンシツコナジラミの排泄物によるすす病
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【ミナミキイロアザミウマ *Thrips palmi*】

幼虫および成虫が、葉および果実を食害。黄化えそ病の媒介をする。



雌成虫(体長1.2mm) 食害により葉裏が銀色に変色 2齢幼虫(上)と雄成虫(下)
適用薬剤 コテツフロアブル など

【ワタヘリクロノメイガ(ウリノメイガ) *Diaphania indica*】

幼虫により、葉や果実・茎が食害される。



若齢幼虫(体長4mm) 老齢幼虫(体長16mm) 成虫(体長15mm)
適用薬剤 コテツフロアブル など

【ナミハダニ *Tetranychus urticae*】

加害により、葉の表面に白点を生じ、増殖すると葉が萎縮し枯れる。



卵(直径0.15mm)、第1若虫(0.25mm)、第2若虫(0.35mm) 多発し巣網が張られた葉 成虫(体長0.5mm) 被害葉
適用薬剤 ダニオーテフロアブル、コテツフロアブル など

【ハスモンヨトウ *Spodoptera litura*】

幼虫により、葉および果実が食害される。



中齢幼虫(体長13mm) 老齢幼虫(体長20mm) 幼虫による被害果
雄成虫(前翅長18mm) 卵塊 雌成虫(前翅長20mm) 幼虫による被害葉
適用薬剤 フェニックス顆粒水和剤 など

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9～12時、13～17時、土日祝日を除く)



HPIはこちらから